



博物館学習シート（原始）

（平成 年 月 日 氏名 ）

このシートは、博物館の展示のうち歴史の学習と関係の深い資料について、みなさんが自分で調べるときに使います。

疑問に思ったことや、よくわからないことは博物館の人に聞いたり、帰ってから各自で調べて見ましょう。鉛筆と下敷きを用意しましょう。（ペンやマジックなどは持ち込んではいけません。）

- 1 石器がたくさん展示されています。あなたが最も興味を持ったものを1つスケッチしてみましょう。また、その石器の名前、どのように使われたのかを調べましょう。

石器のスケッチ

石器の名前

使い方

- 2 土器もたくさん展示されています。これらの土器は何に使われたのでしょうか。展示を見て考えて見ましょう。

土器に刻まれている文様をどれか一つスケッチしてみましょう。（何を使って文様をつけたのかな？）

- 3 人形のような形をしたものがありますが、名前を調べましょう。

- 4 このころの人たちは、これらをどのようなことに使ったと考えられていますか。



縄文人の主食はドングリ

「縄文人はドングリを食べていた。」

というと「エ〜うぞー!」という声が聞こえてきそうですね。みなさんのなかにドングリをかじったことがある人もいるでしょう。『あんなに苦いものは食べられないよ』

確かにドングリはほとんどの種類が強い苦味を持っています。

しかし、日本各地の遺跡から木の実を加工するのに使われたと考えられる石器がたくさん出土していて、いくつかの遺跡からはドングリでつくった団子やドングリを貯蔵していた穴が見つかっています。これらのことから、『**縄文人がドングリを食べていたことは間違いない**』といえます。

このように縄文人がドングリを食べることができるようになるには、あるものの発明があったからなのです。

それは、みなさんが今見てきた**縄文土器**なのです。

縄文時代以前の人々は食べ物を「焼く」「あぶる」もしくは「生」で食べていました。それが土器を使うことで「煮る」ということができるようになりました。この「煮る」ということで、固い食べ物を柔らかくすることができるようになりましたし、ドングリのように苦いものや毒を持つ植物を料理することができるようになりました。

その結果、それまでは食べるのできなかったものも食べるできるようになり、多くの種類と大量の食べ物を手に入れることができるようになりました。

そのため、食べるものを探し求めて移動する暮らしから、一定の場所に家をつくり比較的安定した暮らしがえられるようになり、その後の文化の発展の基礎となったのです。

どうです、縄文土器をもう一度、見に行きませんか。



見学を終えて

・博物館の見学をしてあなたは、どの展示物が一番印象に残りましたか

・それはどの時代ですか

・印象に残った理由はなんですか

・見学をしていて、疑問に思ったことはありませんでしたか

ある

ない

・それはどのようなことですか